



ONGAKU

～音で笑顔に～

今回の連載《自由連弾》第2回には“聴こえて来た音を自分がどう感じているか”確かめたり吟味する活動を“音の感触”という新しいワードを使って説明しています。

“心ここに有らず”の状態ではどんな音も聴こえません。まずは身の回りの音に耳を傾けて意識を向ける。そして聴こえてくる“音の感触”を確かめる行為は、音とより深く向き合う「音を楽しむ ONGAKU」にとって欠くことの出来ない大切な活動なのです。

皆さんも“音の感触”という新しいワードを是非覚えて下さい！

### 【活動報告】

「丸山保育園/ワークショップ」12月1日(日)10時～11時 中野区野方ウィズ  
[丸山保育園親の会]からの依頼で乳幼児親子対象のWSを開催しました。

参加者は乳幼児59人!! 就学児11人と保護者の総計130人超えの大人数で、当初は乳幼児が1時間も飽きずに参加出来るのか心配の声もありましたが、みんなでシャカシャカ（乳酸飲料の容器の中にお米を入れてペットボトルのキャップで蓋をした楽器）の飾り付けをしたり、ビブー（風船の端を切ってストローに付けてブブー吹く楽器）を手作りして鳴らしながら行進したり。「身近な物から出される音だけでこれだけ楽しめるなんて！」と驚きの声が聞かれるなど、終わってみれば全員が楽しめた大盛況のイベントとなりました



《素敵なチラシ!》



《総勢130人超の大イベント!》



《音楽隊の行進!》

「東栄町/自由連弾と座談会」 1月23日～25日 愛知県北設楽群東栄町

今から6年前の2019年10月1日(火)、東海道線豊橋駅から飯田線で1時間半ほどの山間にある愛知県北設楽郡東栄町で同町社会福祉協議会主催の第一回自由連弾ワークショップが開催されました。

初回は集会所に居合わせたお年寄りと小学校支援学級の児童が対象でしたが、回を重ねる毎に膨らんでいき、コロナ禍の中断を挟んで現在では保育園の年長クラス・小中学校の支援学級・障害児親の会などと範囲を広げ、自由連弾のほかにも乳幼児親子のリトミックや子育て支援員・施設職員・教育関係者を対象とした教育相談の座談会まで、二泊三日目一杯のスケジュールをこなすまでになりました。

さらに昨年度まで年一回だったワークショップは今年度から年二回の開催となり、来年度からは副理事長の齊藤明子も正式に講師依頼を受けているので2名体制での取り組みが始まるなど、東栄町での活動はますます広がりを見せています。

以下、主催して下さった東栄町社会福祉協議会の岸さんからいただいた文章です。



《時には涙しながら熱く語り合った座談会》

参加者の笑顔と「また企画して欲しい！」という声をいただき、今年も開催しました！

今年度はクニポン（理事長）とお試しでアッキー（副理事長）にも東栄町に年2回、2泊3日に来て頂き、町内の保育園や小中学校、親子の会を訪問してのワークショップと座談会を開催致しました。東栄町での開催は3年連続となるのでお二人が歩いていると遠くから「クニポン！」「アッキー！」と呼びかける保育園児が現れるくらい東栄町ではお馴染みの存在になっています。

お二人の魅力は沢山あるのですが、一緒にいる人たちを自由で温かな雰囲気に取り込んでくれる懐の深さにあると感じています。ワークショップでは、周りの空気に敏感(過敏)な反応を見せる子ども達も創造性と積極性に富んだ姿を見せてくれますし、座談会では普段は心の内を見せられない大人たちが思わず涙を見せてしまうくらいに心を解放されています。

身の回りにあるちょっとした音を楽しみ感じさせてくれる技術は勿論のこと、それ以上に参加者を前向きな気持ちにさせてくれる優しい眼差しや声掛けが素晴らしいです。

東栄町は人口2700人の山間部にある小さな町で、町内にはもちろん近隣にも特別支援学校も放課後等デイサービスもないため、障がいの有無にかかわらず皆が同じ学校に通っています。社会福祉協議会でも児童や障がい分野にかけられる予算は少なく、大規模なイベントには障害児を持つ保護者が人目を気にしたり遠慮もあり参加しづらいのですが、こちらの NPO 法人では各施設を訪問して少人数向けに実施してもらえるので大変助かっています。



《みんなで楽しく遊んだ乳幼児親子リトミック》

東栄町のような福祉サービスが乏しい過疎地域でも取り入れやすいので、全国の似たような自治体にも是非お勧めしたいです！（NPO としてもこの一言が嬉しいですね！）

## 連載《自由連弾》その2 “音の感触”

連載の第一回で紹介した“音楽室のピアノをメチャクチャに弾いたり太鼓をガンガン叩いてイタズラする腕白な男の子達”は、実は幼い子どもが手当たり次第に色々な物を触ったり口に入れたりして感触を確かめるのと同じように、ピアノから出される“音の感触”を確認し、楽しんでいたのでした。

そしてこの僕も音楽の原点である音を楽しむ感覚を確実につかみ取ったおかげで、これまで極めて狭い範囲でしか理解出来ていなかった音楽の世界が“音を楽しむ”という基本に立ち返れたお陰で、一気に目の覚めるような広い世界へと変貌を遂げたのです。

“音の感触”を確かめること、それこそが音楽の原点だったと気がついたのです。

さて、それからの僕は、いつも通り休み時間に音楽室でガンガンやってるわんぱく達を見つけると、今までのように「困ったなあ～(汗)」ではなくワクワクしながら「先生もまぜて！」とその輪に入り、子ども達と一緒にドラムセットやピアノの音の感触を楽しみました。

最初のうちは訳も分からずとにかく子供達の真似をしてみんなでガンガン音を出していたのですが、気がつくやうにだんだんお互いが出す音で気持ちが通じ合うような感じで、皆で打ち鳴らす音をだんだん大きくしたり小さくしたり、速度を早くしたり遅くしたり、いきなり小さくして反応出来るかやってみたり、時々僕がまねをしてくれたり別の誰かがリードしたりと、いつの間にかみんな楽しく遊べる(アンサンブル出来る)様になっていました。特にピアノでは一対一の連弾形式を定着させて遊んでいたのがジャズのフリースタイルのセッションみたいな音遊びが成立するようになっていました。



《この自由連弾は本文とは無関係です》

ドレミの音階がある普通の楽曲をリコーダーや鍵盤楽器などで演奏するなんて全く苦手そうな男の子達が、自分の思いだけで自由にピアノの鍵盤を弾いて音を出しながら僕とセッションしているなんて、これまで僕が経験してきた音楽からは想像も出来ないことでした。

そしてある時彼らに「授業が始まったら今の楽しい演奏をみんなに聴かせてあげようよ！」と提案したのです。ところが「そんなハズい(恥ずかしい)から嫌だ！」の一言で提案は却下。

彼らにしてみればメチャクチャの演奏は楽しいけれど、他人に聴かせるものではないし恥ずかしかったのかもしれないが、ドレミの演奏なんか出来なくても“楽しいと感じる音”があるだけでこれだけ楽しいアンサンブルが出来るといふことを他の子ども達にも伝えたかった僕としてはとても残念な出来事でした。そんな時に会ったのが支援学級(知的障害)の子どもたちです。

## 支援学級の子ども達との出会い

僕の初任は今から四半世紀以上前の1979年。当時はツッパリ軍団が校内を我が物顔に闊歩し(校舎4階の廊下を自転車で走り回るなど)のメチャクチャ荒れている中学校で、我々教員は校内に毎日のように鳴り響く火災報知器に対処し、他校生徒への暴力行為や集団万引き等で警察署に補導された生徒を引き取りに行き、授業妨害のために教師に難癖をつけて怒鳴ったり、日常茶飯事に繰り返される教員に対する校内暴力などに翻弄される毎日で、本当に生徒の生活指導に明け暮れる戦闘状態でした。そんな荒れている中学校で6年間を過ごした後に憧れていた小学校への異動が決まったのですが・・・。

ツッパリ軍団との対応に慣れすぎてしまっていた僕は、転任が決まった段階からあまりにも大きな無垢小学生とのギャップをどう穴埋めすれば良いか考えていたのですが、その時に思いついたのが「支援学級の子供達と遊べるようになれば通常級の子供達とも行けるだろう」と言うことでした。そこで小学校での業務内容がまだ良く分かっていなかった僕はとりあえず給食を支援学級のクラスで食べることにして、その後の昼休み時間に支援学級のプレールームで彼らと遊んだりしていたのですが、ちょうどそこに一台のアップライトピアノが設置されていたので先ほどの男の子達と同じようなピアノ遊びをやってみたのです。すると・・・。

以下次号

### 【今後の活動予定など】

～ご参加などについては、本会事務局までご連絡ください～

★江古田の杜：おひさまリトミック（第4日曜） 11：00～11：40

リフィンラボ 4/27（日） 5/25（日） 6/22（日）

3/30（日）と6/29（日）は「パパも遊ぼう」を行います。

◆その他の予定や詳細についてはホームページをご覧ください。

## < 賛助会員を募集しています！ >

本会の活動は賛助会員の皆様の会費で賄われています。本会の事業の趣旨に賛同し、ご支援していただける方は、是非賛助会員になってください。現会員の方は、お知り合いの方などにお声をおかけください。賛助会員になってくださる方（または誘ってくださった会員の方）は、まず下記の事務局までご連絡ください。

賛助会費は、年間3000円です。よろしくお願い致します。

振込先

① ◆三菱UFJ銀行 向島支店 ◆口座番号：普通 0088065

◆名義名：エヌピーオウホウジンオトヲタノシムオンガクノカイ

② ◆ゆうちょ銀行 ◆口座記号：10090 口座番号：18396671

◆加入者名：トクヒ) オトヲタノシムオンガクノカイ

NPO法人 「音」を「楽」しむONGAKUの会

〒131-0032 東京都墨田区東向島2-34-12 サニーフラット202号

PHONE & FAX：03-3610-2292



otoiawase@oto.or.jp

URL：http://www.oto.or.jp/



facebook：https://www.facebook.com/ototano/